

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/sigikai/>

市議会だより No.28

平成25年2月15日



新人議員研修会（1月16日）

12月定例議会

議案の概要 P2～P3

焦点 山頭火ふるさと館の整備 P3

一般質問 P4～P9

政策討論会・議員研修会 P10

議会モニターからの意見 P10

議会日誌 P12

3月定例議会の予定 P12

議会中継（ライブ・録画）がホームページで見られます!!

11月27日から新たな議員の任期が始まり、12月3日に12月臨時議会が会期1日で開催され、議長に^{ゆくしげのふあき}行重延昭議員、副議長に^{しげかわやすとし}重川恭年議員が選出されました。

12月定例議会は、12月7日～27日の会期21日間の日程で開催され、平成24年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、市犯罪被害者等支援条例、地域主権推進一括法関連条例の制定など、議案27件、選任3件、報告4件、決議1件を審議しました。

平成24年 12月 定例議会

条例

■県下初の犯罪被害者等支援条例の制定

「犯罪被害者等基本法」が制定され、地方公共団体の責務として、地域の実情に応じた犯罪被害者等の支援施策を策定し、実施することが定められています。平成23年9月、平成24年3月議会での議員の一般質問やNPO法人山口被害者支援センターからの条例制定の要望もあり、制定されたものです。

■良好な景観を後世へ

ー景観条例の制定

「景観法」が平成17年に全面施行され、市は平成20年4月にこの法律による「景観行政団体」になっています。景観の施策を進める指針となる「市景観計画」を昨年3月議会で議決し、5月から適用していますが、この計画に基づき良好な景観を後世に引き継いでいくための条例で、県下6番目となります。

■地域主権推進一括法関連条例の制定

「第1次及び第2次地域主権推進一括法」等により、介護保険の地域密着型サービス、道路構造、道路標識、河川管理施設の構造、公園施設、市営住宅等の技術的基準や設置基準等に関する9つの条例を新たに制定しました。これまで国が定めていた基準を市の条例で定めるためのもので、これまでの基準をほとんどそのまま条例化しました。

■留守家庭児童学級の保育時間延長へ

留守家庭児童学級の保育時間延長と、保育料及び延長保育料値上げの条例改正を可決しました。（4月から）



①保育時間

8:30～17:45 ↓ 8:00～18:00

②保育料及び延長保育料

保育料 2,500円→3,000円/月
延長保育料
3,600円→4,800円/年

■葬儀所業務は存続へ

昨年3月議会に提案された市葬儀所廃止の条例改正案は継続審議となり、6月議会で霊きゆう車は廃止し、葬儀所は残す修正案を賛成多数で可決しました。葬儀所廃止の条例改正案が再度提案されましたが、賛成少数で否決。4月から霊きゆう車はなくなりますが、葬儀所は引き続き存続します。

（11ページの賛否No.1を参照）

人事議案

■教育委員会委員の選任

再任 小松宗介さん（大字田島）

■監査委員の選任

退任 今津誠一議員（東三田尻1丁目）
新任 吉村弘之議員（大字田島）

■固定資産評価審査委員会委員の選任

再任 中谷安彦さん（大字台道）
再任 山本好子さん（大字新田）
退任 笠原高六郎さん（国分寺町）
新任 藤原由美子さん（高倉1丁目）

予算

■2つの修正案可決

ー平成24年度一般会計補正予算

一般会計補正予算で2億699万8千円を追加しました。主なものは、不当要求行為等防止対策専門委員報酬12万2千円、山頭火ふるさと館整備予定地購入関係経費4,480万9千円、民間保育園施設整備補助金（補助率3/4）5,440万8千円、西浦漁港の防波堤機能保全工事費6,000万9千円、市内公立小・中学校の通学路の危険箇所の工事費898万8千円、小・中学校教室の扇風機設置経費1,951万4千円、プール解体工事費5,900万円などです。

これらの内、不当要求行為等防止対策専門委員報酬は、昨年の3月、6月、9月議会でも、市の顧問弁護士への対応でも可能であり、その必要性が説明されないとして予算から削除されたもので、今回も同様の理由により修正削除されました。（賛否No.2）

また、山頭火ふるさと館整備予定地購入関係経費は、昨年の9月議会で、購入予定地が長細く面積が小さいので十分な展示スペース、駐車場が確保できないため、場所の再検討を理由に、補正予算か

正副議長就任あいさつ



議長
行重延昭



副議長
重川恭年

任期満了により市議会議員選挙を経て、昨年12月3日の市議会臨時会において、私どもが議長並びに副議長に就任いたしました。

誠に身に余る光栄であり、責任の重さを痛感いたしております。急激に社会情勢が変化する中、市議会といたしましては、本市の一層の発展を願い、市民の皆さまからご意見をいただきながら、より市民に開かれた議会、協働する議会を目指し、更なる議会改革に取り組んでいく所存でございます。

市民の皆さまの、今後一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。ごあいさついたします。

焦点 山頭火ふるさと館の整備

9月議会に引き続き12月議会でも山頭火ふるさと館整備予定地をめぐる活発な議論がされ、場所の再検討を理由に、関連経費を削除する修正案が賛成多数で可決されました。また、遅滞ない建設のため、執行部が市議会と協議し、3月議会に提出することを求める決議も可決されました。

整備予定地の形状・面積、展示スペースの広さ、観光との関係など、整備予定地の場所が議論の中心となりました。ここでは、最終本会議における補正予算原案と修正案に対する議員の発言を紹介します。

■原案賛成

山根祐二（公明党） 土地の形状に意見もあるが、天満宮近くで、山頭火の小径に隣接し、土地所有者の売却の意思も確認できている。施設の建築については、議会の意見をしっかりと取り入れてほしい。

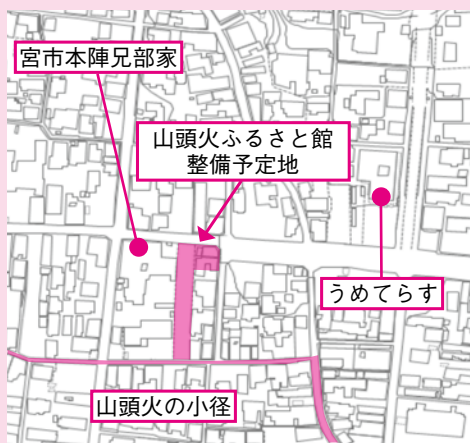
藤村こずえ（和の会） 敷地が縦長だからこそ、そのトリッキーさが来館者の興味を引く構造になる。駐車スペースは身障者用も含め5台だが、天満宮やうめてらす

■修正案賛成

松村 学（明政会） 建設に反対ではないが、土地の形状、面積の他、車の出入等の交通安全対策など問題。表参道の土地や空店舗を活用する方法もある。施設工事費5億円、維持管理費が毎年2千万円赤字と言われ、観光振興だけでなく、商店街活性化、生涯学習等それに見合うだけの効果があると市民に説明できるのか。土地の再検討を求める。

田中健次（市民クラブ） 常設展示112㎡、企画・特別展示57㎡では、狭

らすとの回遊性を持たせ、観光面の活性化になる。施設の大きさではなく、取り組みによつて館のよさが決まる。平成25年が生誕130年であり、1日も早い建設を希望する。



すぎる。アスピラートの山頭火の部屋が60㎡、文化財郷土資料館の展示スペースが180㎡、アスピラートの展示ホールは450㎡。土地の形状が細長く、余りにも狭い。議会、市民と協議なく基本計画を作ることも問題。

ら削除されたもので、今回も同様の理由により修正削除されました。（賛否No.3）

決議

■市は市議会と協議を

— 山頭火ふるさと館整備事業

山頭火ふるさと館の整備については、市議会に設置された山頭火ふるさと館検討協議会において、執行部と協議してきました。昨年1月の検討協議会で予定地の長細い形状と面積の小ささが指摘され、執行部は土地にこだわらない形で基本計画を策定するとしていました。その後、何らの説明・協議もなく、8月の検討協議会等で、基本計画が示されましたが、周辺の土地購入がないため、長細く面積は小さく、十分な展示スペースや駐車場が確保できない状況です。9月議会では、再検討を求めて予算が修正削除されました。

12月定例会でも、同様に修正削除されましたが、山頭火ふるさと館の遅滞ない建設は望まれるところです。

そこで、執行部が、整備予定場所、基本計画等に関して、市議会と胸襟を開いて協議し、次の3月議会には提出するよう求める内容の決議を賛成多数で可決しました。（賛否No.4）



Q&A

一般質問



12月定例議会では、16名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を2月下旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

雇用創出プランの実現―若者・女性・シルバー等の起業支援

今津 誠一（和の会）

問 私は公共事業の拡張、中小企業の育成・支援、企業誘致等による雇用創出プランを考えている。

市長 今回は若者・女性・シルバー等の起業による雇用創出を提案したい。理由は、いま市民が自ら立ち上がって起業をし、内発的発展を果たすことが最も大事と考えるからです。

一つの成功事例が生まれれば、これに倣（なま）ってまた新たな起業家が生まれ育つ好連鎖が期待できます。

市はそれぞれが起業しやすい環境を整え、支援策を講じるべきと思うがいかがが？

市長 新規雇用を創出する有効な手段と考える。

商工会議所と連携しつつ、市としても起業家育成のために金融面からの支援も必要と考えている。

問 私は私のプランを実

現し今後3年間で300人の雇用創出目標を掲げている。市も目標数字を掲げるべきでは？

市長 目標数字は掲げにくいが努力したい。

バイオディーゼル燃料の利用促進

問 化石燃料に代わる新エネルギーとして国も奨励し、多くの自治体、企業も既に利用している。市所有の車輛についてこれを利用するため検証して欲しい。

市長 調査研究し、使用実験に着手し、本格導入に向けて取り組んでまいりたい。



高齢者が生きがいを持って住めるまちづくりを！

山田 耕治（絆）

問 高齢者就労の場で、シルバー人材センターがあるが、仕事の種類や就労幅の見直しは？

市長 法律の規定に基づいて事業実施しているの

で、見直しは、国の法律改正が必要となる。

問 高齢者の就労窓口と相談件数は？

産業振興部長 就労支援は、ハローワークで実施しているが、平成23年で

55歳～64歳の方70人の相談があり、就職者は13人、65歳以上の方は、9人の相談で1名の方が就職している。市として60歳以上を対象とした相談窓口

は、考えていく必要があると思う。

問 防府独自のシニアバンク制度の開設は？

産業振興部長 今後研究したい。

問 60歳以上の高齢者を雇用した企業に対し、補助金を支給する自治体

もある。防府市でも支援

すべきと思うが、いかが？

市長 雇用促進支援の中で取り組む等、前向きに検討したい。

問 買い物難民に対する市の考え方で、乗り合いバス・タクシー等の具体的な取り組みは？

市長 一部の地域（小野・太道）で、乗り合いバスの試行を早急に実施したい。

要望 防府市を築いてきた先輩たちが、生きがいを持って住めるまちづくりを、今後もしっかりと考えていただきたい。



その他の質問項目

◆安心・安全な通学路の環境整備について

線引き・用途区分見直しについて 牟礼地区の高潮対策の遅れはなぜか

田中 敏靖（和の会）

問 市街化調整区域の住宅地を市街化に編入しても良いのでは。

市長 過去6回の見直しがあったが、過去の定時見直しで社会情勢を勘案し編入が見送られた。次の基礎調査が始まっている。

用途区分については、内陸部に工場誘致の話もあるので新たな区域の決定等今後調査研究したい。

問 市道にはみ出している障害物を除去できないか。

また、すみきりの買い取り制度を行わないのか。

市長 法的には個人の所有物であるので難しい。すみきり買い取り制度は、防府市も、山口市と同じく公的事业は買収、地元要望の場合は寄付となっている。

問 牟礼の末田・堀越地区の高潮対策が遅れているのはなぜか。

市長 当該地の海岸は、



一般公共海岸であり、山口県の所管である。県と離岸堤など海岸保全施設の設置について協議してきたが事業化に至っていない。平成24年台風16号接近時の被害状況を報告し、再度施設整備の要望をする。

市長と議会の対立はやめて！ 市民第一で景気雇用にも全力投球を！

松村 学（明政会）

問 大規模雇用が見込める企業誘致の引き合いに

対し、大規模な財源が投入できる状況にあるか？

市長 財政の健全性を堅持しつつ、身の丈に合った対応をする。

問 若い人たちのために、スターバックスコーヒーなどの大人気の有名

店を防府に誘致するため、調査できないか？

市長 現在、考えていません。

問 どん底の防府の景気を回復するため、来年度予算編成に向け、新たな景気雇用対策を考えているのか？

市長 各種奨励制度の見直しを検討し、市全域において、企業家育成支援の制度づくりを協議検討している。

問 JT防府工場跡地については、平成25年5月で解体工事が終わり、東京ドーム11個分の空き地ができるが、JT側と協

定を結び、新たな企業を誘致できないか？

市長 更地になった後で、JT側が最終方針を決定されるそうなので、適切な対応をする。

意見 大投資をしないと、企業も雇用も生まれません。機を逸する。

問 市政の混乱を避けるべく、きちんと水面下で

対話を持ち、市長と議会の歩み寄りにはできないのか？

市長 対立していると思っていない。

要望 市道下河内潮合線拡幅改良工事については、地元要望から6年間も経過し、全く手がつけられていないが、来年度は考慮していただきたい。



家電リサイクルについて

山根 祐一（公明党）

問 リサイクル指定家電製品を無料で回収し運搬

したり、また、屋外無料回収場所に置く業者があるが市の対応はどうか。

市長 不用品回収業者が増加しており、不適正な処理が問題となっている。しかし、不用品を無料で回収する行為が廃棄物でなく有価物とする場合があり強い指導が行えなかった。平成24年3月、

国から「使用済み家電製品の廃棄物該当性の判断基準」が通知された。今後、実態の把握に努め指導強化を図る。

問 小型家電リサイクル法が4月から施行されるが本市の取組みは。

市長 レアメタル等の重要性が高まっている。本市においては新施設の稼働を契機として「ごみ処理基本計画」を策定する。小型家電などの新たなリサイクルについても推進していく。

問 本市の新施設が平成26年4月から稼働する。リサイクルセンターも設置されるがどのように運用されるのか。

生活環境部長 施設稼働に合わせ、再利用可能な家具類等を選別して展示販売を予定している。

問 小型家電や自転車についてはどうか。

生活環境部長 現時点では家具類にとどめておきたい。

問 リサイクル施設はその過程を見学可能か。

生活環境部長 バイオエネルギー使用の全国初の施設であり、焼却施設、リサイクル施設とも見学コースを予定している。



農業振興地域宅地化の対策は 単市土地改事業補助制度の充実を

高砂 朋子（公明党）

問 農業振興地域（白地

区域）の土地利用の状況は。そして農業用施設の保全と、宅地化に伴い必要になってきた交通安全対策の双方をどう調整していくのか。大変重要な課題ですが、今後の取り組みは。

市長 平成24年度の市街

化調整区域内の開発面積は1・8ha、農地転用の7・8割が住宅用地へ転用。宅地化が進行しているのは、田島、新田、下右田。農道は、近年の宅地開発により一般の方も通行され、交通量も増加し、安全施設も不十分との声もある。今後も地元

水利関係者、自治会、警察署と協議しながら安心安全の観点から速やかな対応に努めてまいりたい。

問 開発許可の際、交通安全対策のことも含めての調整が必要では。

産業振興部長 今後、調



交通量の多い田島 農道

整してまいりたい。

問 国・県の補助対象と

ならない小規模な事業を対象に、農業用施設の整備に補助する「単市土地改良事業補助制度」、平成21年土砂災害の復旧で後回しになった申請とこの間の分を合わせると、かなりの件数が未着手となっているのでは。今後の予算を増やして、早急に対応すべきでは。

市長 今後の農業振興を

図るために、新年度予算を増額し、制度の充実について十分に検討してまいりたい。

その他の質問項目

◆ 地域とともにある学校づくりのため「コミュニティ・スクール」を充実することについて

災害に強いまちづくりについて

清水 浩司（和の会）

問 校舎の耐震化対策につ

いて 前倒しはできないか。工事を生きた防災教育として生かして欲しい。

市長 2年前倒しし、完

了は平成30年度としている。耐震強度の低い校舎から順次実行している。施設の耐震化工事を生きた教材とし役立てたい。

問 火災報知機の全戸普

及について、普及の県内順位は。

市長 防災イベント等を

通じ啓発活動を実施したい。普及率は県内では2番目である。

問 防潮堤の整備につい

て。

市長 西浦、台道堤防の高上げ、勝間地区の高潮対策を実施している。

問 砂防堰堤（土石流対

策）の整備について。

市長 土砂災害ハザード

マップを作成している。今後も砂防堰堤の整備については国・県に要望し

て行く。砂防堰堤の維持

管理については、国・県に対し、適正な維持管理に努められるように要望する。

要望 中小河川の整備に

ついて（土砂の浸淫について）常に予算を確保して頂きたい。

問 自主防災組織の充実

について。

市長 一時避難場所については、自治会連合会や自治会が定めていくよう

にお願いしたい。防災訓練についても繰り返し実施する必要がある。避難所の運営についても地域の協力体制を見直したい。

停電対策については、

今年度導入した電気自動車

を役立て、停電時の電源

確保に努めたい。



期日前投票所の増設について

山下 和明（公明党）

問 本市の期日前投票所

は「市役所4号館2階」1箇所となっておりますが、県内の期日前投票所は166箇所で開催しており、20箇所を超える市もあります。

年々、期日前投票も増

加しており、防府市議選では1万人を超え、投票者に占める割合も20%を上回る状況となっております。

期日前投票に来られた市民からは「混み合うことや待ち時間が長いので、中には帰られた方もいたようで、現状に則した期日前投票所に改善できないのか」といった苦情が寄せられました。

行政は、投票しやすい環境を有権者に提供しなければなりません。

そこで、期日前投票ができる投票所を市内数箇所開設し、どこの期日前投票所でも投票できるようにすることはできない

か、伺いたい。

選挙管理委員会事務局長 選挙管理委員会、期日前投票所の増設について協議いたしました。

協議の結果、まずは市内の2、3箇所で期日前投票所を増設する方向で検討することとしました。

その前提として二重投票を防止するための対策としてシステムの導入と

瞬時に把握できるネットワークを構築する必要があり、予算化も必要となります。

期日前投票所が混雑する場合もありますので、増設箇所について再検討を行う予定。今後、高齢化社会が予想されることから投票しやすい環境を整える事が益々必要です。

増設については前向きな検討を続けたい。



美術館の建設に向けて

平田 豊民（和の会）

問 市内にある美術品を展示、収納する場を設けてはどうか。

市長 本市にとりまして、美術や工芸などの著名な作家の方々の作品を大切に保存し、後世に伝えていくことは、今を生きる私たちに課せられた使命でもあると思うっております。

美術館は防府市に是非とも必要な施設であり、私に課せられた次なる課題の一つであるとも認識しております。

問 藍染の施設を富海公民館の敷地内に設けてはどうか。

市長 藍染という伝統工芸や、鮎村秀子先生（あゆむらひでこ）の作品に対して、地域をあげて藍染を継承し、富海を藍染の里として定着させたいとの思いを抱いて、そのための体制づくりに取り組もうとしていらっしゃることを伺い、私といたしましては胸が熱く



なる想いです。藍染をおこなうに当たっては、色々な作業を伴いますので、地域の皆様のご協力を得ることが、何より必要であろうと思います。

地域におかれまして藍染の里づくりの機運が高まり、地域を挙げて藍染を守り伝えていく体制が整いました折には、市といたしましても、地域の皆様のご意見もしっかりお聞きした上で、協力してまいりたいと存じます。

住宅リフォーム助成事業の継続を 大道駅のバリアフリー化を

山本 久江（日本共産党）

問 住宅リフォーム助成事業は、今年度すでに9月で780件の申し込みがあり、受付が終了。約7億円の仕事が市内業者に発注されたことになり、大変喜ばれている。

市長 この事業は、市民や住宅関連業者及び商業関係者からも非常に歓迎されており、市の活性化につながっていると考えている。来年度も実施する方向で、関係機関と協議したい。

問 予算額や助成金の増額、対象工事の拡大等事業を拡充してほしいがどうか。

産業振興部長 予算増額や対象枠の拡大は考えていない。

問 市内施工業者への説明会に100社余りが参加し、関心が



高いが、申請は、わずか5カ月で終了した。予算が足りないということではないのか。

市長 財政とも相談して努力していきたい。

問 JR大道駅のホームの乗降箇所には段差があり、高齢者には危険で車イスの方は利用できない状況である。改善してほしいがどうか。

市長 市民が安心して大道駅を利用できるよう、年内に私が西日本旅客鉄道株式会社広島支社を訪問し、バリアフリー化について要望したい。

問 住宅耐震診断の予定数の拡大と改修補助の増額ができないか。

土木都市建設部長 アンケートの実施を予定しており、結果をみて市長会などを通じて国に要望したい。

◆その他の質問項目

防府市地域防災計画の見直しについて

平成24年防府市議会議員一般選挙 結果について

中林 堅造（和の会）

問 議員削減を紙面で表明、選挙戦で訴えて当選された新人議員を迎えた市議会。6月議会で定数25名の確定も踏まえ、市長の今の考え、思いを聞きたい。

市長 「民意を市政に反映します」と支持を得られての当選、初心を忘れることなく、今後4年の任期に期待している。私は現在4期目のほぼ2/3。公約の「市議定数半減」、これに伴う「市長退職金全廃」、「市長給与半減」の議案は平成22年6・9月議会で否決。その後、10月に市民直接請求運動が起こり、17名とする定数議案が平成23年1月の臨時会に上程、継続審議となり、同年3月議会で否決。議会は、「定数については自らが決める」とされ、平成23年9月議会で、議員有志から提案された23名・25名の定数条例改正案各否決。

さらに同年12月議会において定数24名の改正案も否決。さきの6月議会で定数25名の議員提案を可決。民意は3万5千人以上の有効署名が集められて直接請求がなされた10名削減の定数17名である。議員削減を表明した議員も加わった新議会に期待する。

問 投票率が下がってきているが、どうか。

市長 過去最低の52・82%に憂慮している。どの選挙も投票率の低下が問題になってきている。選ばれて働くもの一人ひとりの日常の活動ぶりにこそ原因があるのではない。政治に携わっている者は民意に謙虚でなければならぬ。



国保料を引き下げろべき 中小企業振興基本条例の制定を

木村 一彦（日本共産党）

問 さきにわが党市議団がおこなった市民アンケートでは、圧倒的多数が4年前に比べて「生活が苦しくなった」と回答しており、そのうちの多くが「国民健康保険料の負担が重すぎる」と訴えている。

一方、市の国保会計は

平成23年度決算で7億9、594万円余の黒字となっており、基金の3億5、833万円余を合わせると11億5、000万円余の余裕がある。仮に1世帯当たり1万円の引き下げをおこなっても1億8、000万円前後の支出ですむので、この際保険料の引き下げをおこなうべきではないか。

生活環境部長 国保財政の見直しは大変厳しく、新年度については保険料の据え置きに努めるが、引き下げは困難。

問 このほど東京・葛飾区の町工場が協同して深



海探査機「江戸つ子1号」を完成させた。プロジェクトの参加者たちは、下請体質からの脱却をはかりたいという強い思いをもち、お互いの高い技術を生かして異業種との連携をすすめた結果、大企業に頼らない独自の道を切りひらいた。

地域経済の振興のためには、企業誘致など外の力に頼るのではなく、地域の経済の内発的な発展をはかることが重要。この点で中小企業振興基本条例を制定することが望ましいと考えるが。

市長 今後も引き続き調査・研究をすすめてまいりたい。

山頭火ふるさと館は約5億円 駐車場の不適格地に建設

三原 昭治（絆）

問 山頭火ふるさと館の建設用地は、形状から議会で否決されたが、新たに検討したか。

市長 うめてらす、防府天満宮と相乗効果が得られ、経済効果も期待できる場所と確信している。

問 うめてらす建設で駐車場の候補地となったが、形状的に不適格となった土地ではないか。

産業振興部長 候補になっていたかも知れない。

問 アスピラート内にある山頭火の部屋の運営は、**教育部長** 山頭火ふるさと会の協力が得られず市が管理している。

問 句の検索機が随分前から故障のままで、山頭火の必要性を主張するなら、なぜ修理しないのか。
教育部長 修理費の高額やふるさと館の建設計画から修理しなかった。

問 山頭火による観光や文化振興を重要視しているが、市内観光パスの



コースに生誕地や山頭火の部屋が入っているのか。
産業振興部長 入っていない。

問 山頭火の部屋の入館者数。企画展やPRは、**総務部長** カウントしていない。開催していない。

教育部長 PRしていない。
問 ずさんな運営管理状態で、新施設の運営管理はできないのでは。なぜ、アスピラートの山頭火の部屋ではないいけないのか。

市長 アピールの場所に適さないことや手狭なことなどから、新施設で発信することになった。

問 総事業費と、運営管理費、入館者見込みは。
総務部長 建物に3億円、整備などを含め約5億円。運営管理費は年間3千万円位。入館者は5万人を見込んでいる。

市民参画・協働条例をどう生かす？ 災害対策の充実を

田中 健次（市民クラブ）

問 「市民参画及び協働の推進に関する条例」が制定され、平成25年4月スタートになるが、今後の対応はどうするのか。
総務部長 市広報、リーフレット等で市民への周知を行なう。「協働事業の提案制度」は協議会で内容を検討する。

問 行政評価が平成23年度末に公表されたが、どう自己評価しているか。
総務部長 初年度でもあり多くの改善点があると認識、今後改善したい。

問 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）の土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）への指定見直しはどうか？
市長 今年度から県が市内全域の現地調査を実施し、平成25年7月頃完了予定。地元説明会後にレッドゾーンの指定、平成25年度末に、新しいハザードマップを全戸配布する予定です。



問 平成26年度から10年間、500円多く徴収される個人市民税は、東日本大震災に関する防災のためのものだが、どう使う計画か。
市長 10年間で2億7千万円程度の歳入が見込まれます。本年度整備する消防救急無線デジタル化に充てます。

意見 それは、通常の予算で対応すべきで、広域災害への対応としては、ライフライン確保が重要だ。避難所の非常用電源や給水設備の整備に使うべき。市民が納得しない。
その他の質問項目

◆審議会に公募委員を。

市街化区域の見直し、自治会マニュアル、私道舗装補助金の拡充

吉村 弘之（明政会）

問 宅地化の進む市街化調整区域は市街化区域へ編入すべきでは。

市長 次回の定期見直し（約5年毎）において、決定権者である山口県と協議したい。

問 市街化区域内の下水道整備計画は。

市長 平成30年度末までには、市街化区域の整備を完了することを目標としています。

問 市街化調整区域からの下水道接続状況は。

市長 平成21年度が25件、平成22年度は25件、平成23年度は43件です。

問 自治会規約を定めている自治会数を把握しているか。指導はしているか。

市長 数は把握していませんが、「地縁団体認可」などの申請時に、例を示しています。

問 自治会館建設や防犯灯の助成等各種助成金についての周知方法は。



市長 説明資料を自治会長宛てに配布し、市の地区担当職員により周知に努めています。

問 自治会運営マニュアルの作成予定は。

市長 自治会等の活動に係る補助金等申請手続きや自主防災組織の制度についてまとめたものを作成する予定です。

問 私道舗装補助金制度について、要件根拠の説明と基準の緩和について

土木都市建設部長 私道舗装工事費（百万円限度）の4割を補助するもので、公共性の有無の判断のため5戸以上を要件とし、付帯工事費を対象としていません。基準緩和については、今後の課題としたい。

投票率向上対策、メガソーラー、新年度予算編成について

重川 恭年（絆）

問 先の市議選の投票率が、過去18回中最低であった。今後投票率アップの対策を考えているか。

選挙管理委員会事務局長 全国的傾向であり当市も例外でない。効果的方策について議論している。

問 具体的にはどうか。

選挙管理委員会事務局長 常時啓発活動には努めているが、投票区の見直し、投票所の数や位置等についても検討していきたい。

問 私が1年前の一般質問で、メガソーラー導入対策について質問した時、市は消極的発言をしているが、今回は導入発表をされた。経緯をたずねたい。

市長 平成24年5月に相手方から話があり、その後関係機関と協議を重ね、合意に達したため、導入に至った。

問 1年前に消極的であったことが、今回受け入れに至ったのはなぜか。



市長 今回の相手先は塩害対策等技術も向上し、貸付条件等も良好であったためである。

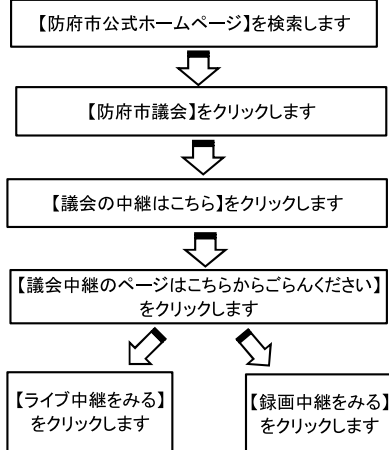
問 昨日、衆議院議員選挙が実施され、本日結果が報道されている。国は議院内閣制のもと、その考え方や予算編成方針も変化すると思うが、市の予算編成に影響はないか。

市長 市が10月29日に発表した編成方針で、今は計画通り進めていく。

問 国の補正・新年度予算編成は確実に見透せる、その時の対応はどのようにするのか。

財務部長 国の方針と市の考え方や整合性を計りつつ、対応していきたい。

インターネット中継を見る手順



防府市のホームページで市議会中継が見られます

政策討論会

中小企業振興を論議

平成11年に中小企業基本法が改正され、地方公共団体は、それぞれの地域にあつた形で、施策を策定・実施しなければならなくなりました。地域経済が疲弊し、どの地域でも、地域の個性に合わせて、自治体、企業、住民が協力しながら、地域の活性化に取り組む必要性が生れています。県内でも、岩国市、山口市、宇部市が中小企業や地域産業の振興条例を制定しています。

1月16日の市議会政策討論会で、「中小企業振興基本条例」を制定すべきとの提案がされ、今後の取り組みについては、会派代表者会議で具体化していくこととなりました。

※政策討論会 重要な政策や課題について、議員が一堂に会し、意見交換する場として、議会基本条例第15条に定められています。昨年度は、政策討論会での議論がスタートとなり、空き家等の適正管理に関する条例の制定やソルトアリーナの料金改定が実現しました。

山頭火ふるさと館検討協議会が発足

市議会の山頭火ふるさと館検討協議会が1月29日に発足しました。今後、執行部と協議を進めていきます。

委員名簿（◎会長、○副会長）

◎田中 健次（市民クラブ） 橋本 龍太郎（政龍会）

○吉村 弘之（明政会） 松村 学（明政会）

上田 和夫（明政会） 安村 政治（政龍会）

久保 潤爾（無所属の会） 山田 耕治（絆）

重川 恭年（絆） 山本 久江（日本共産党）

「挑む議会改革、

一歩一歩前へ」

— 議員研修会

1月31日に防府市議会議場で、「挑む、議会改革、一歩一歩前へ」と題して上越市議会議長瀧澤逸男氏を講師に、議員研修会が開催されました。

上越市議会（新潟県）は、日本経済新聞社の調査で議会改革度全国5位（防府市は全国16位）の評価を得ています。市民の意見を市政に反映する仕組みづくりや議員提案での政策条例（中山間地域振興条例）制定の取り組みが話されました。

議会報告会で出された意見をどう政策に反映していくのか、今後取り組む議員提案での条例制定など、参考になる有意義な研修会でした。



議会モニター募集

議会モニター（4月から2年間）を募集しています。2月28日（木）までに所定の申込用紙で、議会事務局へ申し込んでください。

*詳しくは、2月1日の市広報に掲載。

議会モニターからの意見

モニターから寄せられた意見などの一部を紹介します。

通信内容	議会の回答
議会は、なぜ本会議中継が、インターネット中継だけなのか。市民のみんなが見て、聞くシステムにしないのか。市民一握りのシステムならやめろ。市民は、インターネットより、ラジオの所有者が多いのでは。FMわっしょいか、広報、音声CDを録音している所に依頼する手もある。但し、お金次第です。	経費が少ないこととHP上に、録画が残せるという点が優れていると判断して、インターネットにいたしました。インターネットは各公民館、防府図書館でも利用できます。FMわっしょいでのラジオ中継は、経費がかかり、現在は実施していません。音声CDについては今後検討してまいります。

会派・議会運営委員会・議会改革推進協議会名簿

会 派 名	人数	所 属 議 員 名			議会運営委員会 (任期1年)	議会改革推進協議会 (任期2年)
		(○代表者)			(◎○正副委員長)	(◎○正副会長)
なごみ 和 の 会	7	○今津誠一 中林堅造 和田敏明	清水浩司 平田豊民	田中敏靖 藤村こずえ	中林堅造 平田豊民 和田敏明	清水浩司 中林堅造
絆	5	○山田耕治 重川恭年	安藤二郎 三原昭治	河杉憲二	◎河杉憲二 ○三原昭治	重川恭年
明 政 会	4	○松村 学 吉村弘之	上田和夫	行重延昭	松村 学	松村 学
公 明 党	3	○山下和明	高砂朋子	山根祐二	山根祐二	○高砂朋子
政 龍 会	2	○橋本龍太郎	安村政治		橋本龍太郎	橋本龍太郎
日本共産党	2	○山本久江	木村一彦		木村一彦	山本久江
市民クラブ	1	○田中健次			—	◎田中健次
無所属の会	1	○久保潤爾			—	久保潤爾

※会派は、主として政策に関して同一の理念を共有する議員が集まって作る集団です。この会派を中心に議会活動をしています。

※防府市議会では、現在8の会派が構成されています。

常任委員会名簿 (任期2年)

委員会	委員数	所属委員名 (◎委員長、○副委員長)	所管事項
総 務	9	◎松村 学 ○橋本龍太郎 安藤二郎 重川恭年 田中敏靖 中林堅造 山根祐二 山本久江 吉村弘之	企画・財政・税務・消防・競輪・選挙など
教育厚生	8	◎三原昭治 ○上田和夫 河杉憲二 久保潤爾 清水浩司 田中健次 藤村こずえ 山下和明	健康・福祉・教育・文化・スポーツなど
環境経済	8	◎今津誠一 ○平田豊民 木村一彦 高砂朋子 安村政治 山田耕治 行重延昭 和田敏明	戸籍・環境・産業・観光・道路・上下水道など
予 算	24	◎安藤二郎 ○山田耕治 議長を除く全議員	一般会計予算

— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否 No.	平成24年12月定例会	会派・議員名																				賛否の合計		議決結果				
		和の会							絆					明政会				公明党		政龍会					日本共産党		市民クラブ	無所属の会
		今津	清水	田中敏	中林	平田	藤村	和田	安藤	河杉	重川	三原	山田	上田	松村	行重	吉村	高砂	山下	山根	橋本	安村	木村		山本	田中健	久保	賛成
1	葬儀所廃止の条例改正案	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	10	14	否決
2	平成24年度一般会計補正予算 (不当要求行為等防止対策専門委員報酬削除の修正案)	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	13	12	可決
3	(山頭火ふるさと館整備予定地購入関係経費削除の修正案)	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	13	11	可決
4	山頭火ふるさと館整備事業に関する決議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	13	11	可決

※賛否の態度が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない29議案は、全会一致で可決しました。

※賛否No.2の採決では可否同数となったため、行重議長は採決に加わりました。

議会日誌

11月

- 4日 防府市議会議員一般選挙告示
- 11日 防府市議会議員一般選挙投票
- 16日 議会改革の視察受け入れ（沖縄県那覇市）
- 21日 議会改革の視察受け入れ（広島県福山市）
- 27日 新人議員議会運営説明会
- 28日 全員協議会
- 30日 会派代表者会議

12月

- 3日 臨時議会
全員協議会
- 4日 議会運営委員会
- 5日 全員協議会
勉強会
・平成24年度補正予算ほか
- 7日 12月定例議会開会
全員協議会
広報編集委員会
- 10日 新人議員議会運営説明会
- 12日 本会議（一般質問）
議会改革推進協議会
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（一般質問）
- 17日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 18日 予算委員会（全体会）
- 19日 常任委員会・予算分科会（総務、教厚、環経）
- 21日 予算委員会（全体会）
会派代表者会議
議会運営委員会
- 25日 議会改革推進協議会
政策討論会幹事会
- 27日 12月定例議会閉会
広報編集委員会
- 28日 教育厚生委員会（所管事務調査）

1月

- 10日 広報編集委員会
議会改革推進協議会
- 16日 全員協議会
政策討論会
新人議員研修会
- 21日 会派代表者会議
- 22日 議会改革の視察受け入れ（鹿児島県日置市）
- 23日 議会改革の視察受け入れ（千葉県八街市）
広報編集委員会
- 25日 議会概要報告会
議会改革の視察受け入れ（大阪府高石市）
- 28日 議会モニターと市議会議員との意見交換会
- 29日 山頭火ふるさと館検討協議会
- 31日 広報編集委員会
議員研修会

3月定例議会の予定

- 2月26日 本会議（開会）
予算委員会（全体会）
- 27日 常任委員会・予算委員会分科会（総務・教育厚生・環境経済委員会、現年度分）
- 28日 予算委員会（全体会）
- 3月 4日 本会議（現年度採決、市長施政方針等）
- 5日 予算委員会（全体会）
- 6日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議（一般質問）
- 8日 本会議（一般質問）
- 11日 本会議（一般質問）
- 13日 常任委員会・予算委員会分科会（総務）
- 14日 常任委員会・予算委員会分科会（教育厚生）
- 15日 常任委員会・予算委員会分科会（環境経済）
- 21日 予算委員会（全体会・採決）
- 26日 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記（表紙の説明）

今年の市議会だよりの表紙では、議員の様々な活動を紹介していきます。今回の表紙は、1月16日に開催された新人議員研修会の様子です。表紙には写っていませんが、議会改革推進協議会の正副会長から、議会基本条例や議会改革について、説明を受けているところです。

当初は地方自治の専門用語や議会運営の様々なルールなどに戸惑っていた新人議員ですが、「12月議会が終わって、議会審議がどう進んでいくのかなど、少しずつわかってきた。」という感想も聞かれます。

この市議会だよりは、議員がみずから編集する形で発行を始め、今年で8年目になります。全議員が、4年間の任期期間中に1度は議会広報の編集に携わるよう取り決め、今年発行の市議会だよりは、次のメンバーで編集いたします。市議会と市民のパイプ役となり、市民に親しまれ読みやすい紙面となるよう全力を尽くします。市民の皆様の声もお寄せ下さい。

議会広報編集委員会

◎田中健次 木村一彦

○藤村こすえ 平田豊民

安藤二郎 山根祐二

上田和夫

（◎委員長、○副委員長）